

## にゆるにゆる 触手の館

# プロローグ 復活の序章

じん> 学生最後の夏休み。夏はやっぱりキモダメシってことで、みんなでキモダメシにきました。

じん> 森の奥にひっそりと建つ古びた洋館がその舞台。お化けの話もまことしやかに囁かれているこの洋館..

じん> そんな洋館でのキモダメシ、最後の組となった夕美とじん。

じん> 「ほら、行くぞ！」このじんの一言が、恐怖と快楽へのはじまりの合図だということを、夕美はまだ知らない..

夕美> うん... (怖いけど..大好きじんと一緒に... (^-^\*))

じん> 真っ暗な洋館の中を、たった1つの懐中電灯と地図を手に進んで行く2人コソソ...コソソ...コソソ... 「夕美..大丈夫か？」そっと夕美の肩に手をまわす...

夕美> うん..大丈夫..かな? (肩にまわされたじんの手をぎゅっと握り返す)

じん> どれくらい進んだだろう...とある部屋にたどり着き、地図を持つじんが首をかしげながら... 「あれ?ここに階梯があるはずなんだけど...迷ったか?」

夕美> えっ?!じん、迷ったって...(不安そうな顔で、じんの顔を見上げる..ちょっと瞳をウルウルさせながら...)

じん> この部屋に扉は、今入ってきた扉しかなく、壁には無数の蛇のような生物を司る老紳士と、その生物に襲われる女性の絵がかけられている..

夕美> なんか...この部屋、気色悪いね..早く出よ~よオ~...

じん> 「なんたるな、この絵..薄気味悪いな...」じんが独り言のように言い.. 「でも..なんか懐かしい!」夕美に聞こえないくらい小さな声で、ぼつりとつぶやく...

夕美> じん..なにが言った?

じん> その絵以外何もなし、この殺風景な部屋、部屋の四隅には大きな蜘蛛があるが、もちろん、消えている...

じん> ファーン...ファーン...シューウ、..、じんの持つ懐中電灯が突然消え、暗闇が辺りを支配する...

夕美> えっ...ヤダ..じんっ!...そこにいるよね?!なんにも見えないよ~ (涙)

にゆるにゆる 触手の館 <http://blue.ribbon.to/~nyurunyuru/>

じん> そして、四隅の蠟燭に自然に火が灯り、部屋の中をぼわぁぁ~ん...と照らし...そして、、壁の絵を浮かび上がらせる...

夕美> な..なに?なんなの こ..怖い..怖い..じん..助けて..

じん> と同時に、「ウウ...ウウウウ...」と言う呻き声と共に、じんの体が青白く発光しはじめる...

夕美> じん...どうしたの?じん..大丈夫?じん..じん...

じん> やがて発光がゆさまり、夕美の方に振り返るじん..。その顔は壁の絵の男そのものである!!

夕美> きゃ~~~~っ!!!!!!..誰..誰なの?...じんは?助けてっ!!!!

じん> 「ようこそ、我が館へ。触手に見初められし、卑しき者達よ。私が当館のあるじ、厩(じん)である。」低くしゃがれた声で男は続ける..。

じん> 「当館は、厭しく盡く無数の触手に、永遠の快楽を得んとする者の集、し館。その淫らな身体を、盡く触手に弄ぶれ..犯され..汚されることを欲する者には、、」

じん> 「卑しき触手の盡きが..滴る体液が..進む精液が..その淫らな身体を汚し続けるであろう...」

夕美> なに..なに言ってるの...じん..助けて..お願い..ここから出して..助けて..

じん> 男のセリフが終ると、どこからこもなく..シュルシュルシュル..シュルシュルシュル..奇妙な物音がする...

夕美> なに..何の音..やだ..やだ..助けて..誰か..

じん> ふと目を絵に向けると、絵の中の老紳士の姿が消え..蛇のような生物が、絵の中から蠢いている!...、そして、その姿が具現化してくる!!

夕美> えっ...やっ..きゃ~~~~っ!!!!!!ヤダ...ヤダ..ヤダ~~~~っ!

じん> 体中にネトネトの体液を滴らせ、、蠟燭の炎に照らされ、、厭らしく光り盡くその生物..

じん> やがて、その生物の正体が見えてる..それは、、強大なミミズ..無数の巨大なミミズが絵の中で蠢いている...

夕美> なに..なんなの..ココ..ヤダ..来ないで..来ないで..助けて..誰か..お願い..

じん> 体液でヌレヌレと光っている巨大なミミズが..絵の中から突然飛び出し、夕美に襲、掛かる!!

夕美> きゃ~~~~っ!!!!!!

じん> その巨大なミミズは、夕美の手首と足首に纏わり付き、、巻きつき、、縛り上げ、夕美の自由を奪う..

じん> 巻き付いたミミズは、手首や足首をキュ~っと締め付けたり、弱めたりして..その度に、生暖かく、ぬめぬめの感触が手首と足首を舐めるように愛撫して..

夕美> やだ..気持ち悪い..放して..お願い..(涙を零しながら、恐怖で体を震わせて..)

じん> 「さぁ、これから宴が始まる..厭しき触手達よ..さらなら快楽をこの卑しき者に与え、、性なる奴隷とするのだ..」

夕美> なに..なに言ってるの..じん..助けてよ..お願い..そんなの..あぁぁ..

にゆるにゆる 触手の館 <http://blue.ribbon.to/~nyurunyuru/>

じん> 絵の中から、壁から、天井、床..この部屋のいたることから、触手が現れ..そのすべてが夕美を犯そうと..汚そうと..夕美に向かってる..にゆるにゆるにゆる..シユルシユルシユル..

夕美> ああ..こんなの..やだよ..お願..じん..助けて..じん..じん..

じん> 手首に巻きついた触手は..にゆるにゆるにゆるう~と、夕美の腕の上をすべるように巻き付いて..腕全体に巻きつき..

じん> 夕美の腕を真横にひっぱり..足を閉じさせて、まるで十字架に張付けられるよう..触手は、夕美の身体を縛り上げる..

夕美> いやあ..私..どうなるの..こんなの..助けて..

じん> 天井から伸びる触手が..夕美の首のところから、服の下に潜り込み..服の下で蠢き..這..ずり回り..

夕美> ああ..ヤダ..そんな..ダメっ!..ああ..んっはああ..ああっはああ..んん..

じん> 服の下で..触手は、そのヌメヌメの体液を、夕美の身体に擦り付ける..胸に、腹に..背中に..触手が、服の下で這..ずりまわる..

夕美> んああ..こんなの..んああ..怖いのに..でも..ああ..んああ..気持ちいい?..そんな..こと..んああ..

じん> そして..触手は、夕美の服を引っ張り..ピリピリピリ~!!!!..触手が、夕美の服をびりびりに切り裂く..

じん> 服を切り裂かれ、身につけているものは、下着と切り裂かれ、ピリピリに破れたボロキレだけ..

夕美> いやああああっ!!!!..こんなの..あああ..

じん> 「嫌しい身体だ、夕美..その腰つき..その胸の膨らみ..今から、その卑しき身体を、触手に汚されるのだ..それが体望なのだろ?」

夕美> ああ..じん..こっちは見ないで..そんなこと..言わないで..あああ..

じん> じんはそう言..ながら、夕美の身体を視察する..目を細め、胸、腰、足を..舐めるように見つめている..

夕美> はあ..ん..んああ..

じん> 「見られるだけで、感じるのか?それとも、、触手に犯されることを想像して、感じるのか?..卑しきその股間が、濡れはじめていたのではな..いのか?」

夕美> そんなこと..ない..もう..お願..じん..助けて..

じん> 服をピリピリに切り裂いた触手は..その体で、夕美の胸を愛撫しはじめる..

じん> 夕美の胸に、ネトネトの体液に包まれたその体を巻きつけ..きゅ~...きゅ~...と締め上げる..

夕美> ああ..んっ!..んああ..ああ..私..感じる..こんなの..胸を愛撫されて..感じる..んっはああ..どうして..んああ..

じん> 柔らかく..ぷにぷに..生暖かいその体で、夕美の胸を締め上げるたびに、体液で胸の上をにゅぷにゅ..にゅぷにゅ..と滑り..

じん> 触手の体は、胸の谷の方から先端に向かって..ネトネトの体液で、にゅぷにゅ..にゅぷにゅ..と、その生暖かく、柔らかい身体を、滑らせながら愛撫する..

夕美> ああ..ん..んああ..気持ちいい..こんなの..初めて..胸を愛撫されて..こんなに気持ちいいなんて..んっああ..

にゆるにゆる 触手の館 <http://blue.ribbon.to/~nyurunyuru/>

じん> その滑る感覚が、夕美の胸に..やさし..愛撫のような..胸全体を舐められるような感じを与える...

夕美> あっああん..んああ..あああん..んっはあああ..いい..いい..おっぱい..感じる..んあああ...

じん> 何匹もの触手が..夕美の胸を締め付け、谷から先端に向けて滑り..愛撫し..舐めまわし..夕美の胸に、ネトネトの体液を塗りたくる...

夕美> あああん..あああん..んああ..感じちゃう..気持ちいい..おっぱい..すごい..感じちゃう..んあああ...

じん> 夕美の胸の上で、触手は胸を締め付けながら、、その体を動かして..愛撫し..舐めまわす..にゅぷにゅぷ..くにくにくにく..ぺちよ~...

夕美> んあつあ..はあつあん..あああん..(触手の快楽から身を逃がすように..体をくねらせながら...)

じん> 触手は..胸の上で、そのヌメヌメの体を滑らせるのをやめ..夕美の胸に巻き付いて、その胸を締め上げてくる...

じん> 締め上げる力を強めたり、弱めたり..リズムカカリ、その体を動かして、夕美の胸を揉みまくる...

夕美> んっああ..んはああ..はああ..んあああ..いい..んあああ...

じん> 触手は、夕美の胸を締め付け..上下..左右..前後..そのねめめめめ身体を動かしながら、揉みまくる...

夕美> はああん..いい..んああつああ..いい..いい..気持ち..いい..んあああ..はああああん...

じん> くにく~..くちゅ~..ぶちゅ~..触手は、夕美の胸を..愛撫し..舐め、揉み、締め上げる...

夕美> うんっああ..ふう..んっ..あつはああ..ああつあ..いい..の..んあああ...

じん> にゆるにゆるにゆる..ぺちよ~、、ぺちよぺちよくちよ..くにくにくにくにく...

夕美> あああ..んああ..んっふあああ..うんふあああ..んっ..んっ..あああつあ...

じん> 天井から2匹の触手が伸びてきて..夕美の目の前で、体をくねらせながら..その先端をぶく~と膨らます...

じん> そして、その膨らんだ先端が、2つに割れると..その中に、無数のひたひだが..無数のイボイボが..嫌らし..体液を滴らせながら、くちゅくちゅと動きあっている...

夕美> あああ..なに..そのイボイボで..私の体..さらに気持ちよくなる..の?..あああ..んああつあ...

じん> そして、その先端を夕美の胸の先端に..コリコリに硬くなった乳首の上で..ひたひだが、イボイボが..くねくねと動かしている...

じん> その2つに割れた先端を..夕美の乳首に近づけ..しかし、ある程度の距離を保って..そのひたひた、イボイボが直接..乳首に当たらないように..夕美を焦らすように..

夕美> あああつあ..触って..私の乳首..いじめて..おっぱい..いっぱい..いっぱい..んっはあつあつあ...

じん> 2つに割れた、先端の中央から伸びてきた触手の舌が..夕美の乳輪をべろべろと舐めまわす..べろ~..べろ~..べろべろ~...

夕美> あああつあつあ..んんああつあ..んはあつあ..いい..乳輪も..感じるの..あんああつあ...

じん> 乳首を中心に..円を描くように..舌先で乳輪を舐めまわす..べろ~ん(くちゅ)..べろべろべろ~ん(くちゅくちゅじゅちゅ)..べろべろべろ(くちゅぐちゅぐちゅ)...

にゆるにゆる 触手の館 <http://blue.ribbon.to/~nyurunyuru/>

夕美> んああ..んんっ!..んああ..乳首も..乳首も..舐めて..ぐちゅぐちゅに..舐めまわして..んああ..

じん> 舌先が、乳首にあたらないように..丹念に..丹念に..夕美の乳輪だけを嘗め回す..べろ~ん..べろ~ん..べろ~ん..

じん> コリコリに硬くなった乳首に当たらないように..乳輪だけを..舐めまくる..夕美を焦らしながら..

夕美> ああっあっんっ!..お願い..乳首も..舐めて..いっぱい..苛めて..お願い..じん..んああっあっあ..

じん> 「ほら..、そのヒダヒダの触手で、乳首を苛めてもらいたいのだろうか?..胸を揉まれ、乳輪を舐められ、硬くなった乳首を..苛めてほしいのだろうか?」

じん> 「卑しき者よ..その淫らな身体を解き放つのだ..弄られ、犯され、汚されることを..真に望むのだ..」

夕美> ああっ..んああ..そう..いっぱい..苛められたい..私の体..狂わせて..んあっああっあ..

じん> 舌先が..乳輪を舐めまわす..泡をふきはじめて、乳輪を..べろべろ、べろべろ、舐めまくる..

夕美> んああ..気持ちイイ..んんあつああ..んっふああ..あああつあつああ..んああ..んっんっ!..

じん> そして、コリコリに硬くなった夕美の乳首に..ついに、触手の舌先が..夕美の乳首に..きゅ~っと巻き付いてくる..巻きつき、締め上げ..舐め上げる..

夕美> ああつあああああつあああつん!..イイ..イイのっ!..乳首..すごい..おかしくなっちゃう..私の体..んあつああ..

じん> 巻きついた舌先を、左右に..上下に..動かして..這いずり回らせ..夕美の乳首を弄ぶ..弄くりまくる..

夕美> んああ..はあああつん..んああ..んあ..んんっ!..はあつああ..んあつあ..んんっ..

じん> きゅっ!と締め上げたり..締め付けながら、舌先をジュルジュルと動かせ..乳首を愛撫したり..

夕美> あんっ!..んあつああ..乳首..すごい..感じる..んあつああ..熱いの..体が..熱い..んあつああ..

じん> 締め付けのまま..乳首を引っ張ったり..転がしたり..つまんだり..触手は..夕美の乳首を弄びまくる..

夕美> あんっ!..あんっ!..んんっ..んああ..うん..ぶああ..あああつああ..

じん> そして..先端が2つに割れた..無数のヒダヒダのある..イボイボのある..触手が..夕美の乳首を咥え込む..

じん> 乳首..乳輪..胸の先端をぱっくりと咥えこみ..その中の無数のヒダヒダを..イボイボを動かして..夕美の乳首をさらに弄ぶ..

夕美> ああつあああつあ..すごい..すごい..イボイボが..私の乳首..んあつああ..気持ち..いいっ!..

じん> 乳首に巻きついた舌先は..乳首を放し..その代わりに..無数のヒダヒダが..イボイボが..くにくにくと動いて..夕美の乳首を愛撫する..

じん> ひたひだが夕美の乳首を横からこすり(くちゅくちゅ)..つまみ(ぶにゅぶにゅ)..舐め(ねちよねちよ)..転がす(くにくにく)..

夕美> ああつああ..んあつああ..こんなの..はじめて..すごい..んああ..いい..んはあつああ..

じん> そして、イボイボが..上から乳首を押さえつけ..舐めまわす..(くにくにく..ぶちゅ..ぐちゅぐちゅ..べちよべちよ..)

にゆるにゆる 触手の館 <http://blue.ribbon.to/~nyurunyuru/>

夕美> んっ!...んっ!...んっ!...んああ...うんふっうう...んああ..んああ..

じん> くにゆくにゆくにゆ...くちよ...くちゅっ、、くちゅくちゅ...くにゆん!...ねちよ...にゆるにゆるにゆる...

夕美> ああああん..んああ..んあつあ..こんなの..おかしくなっちゃう..あつあつあん..んああ..

じん> 触手は..夕美の胸を揉みまくり...くちゅくちゅになるまで締めまわし..愛無しながら..乳首をくちよくちよに弄ぶ..

じん> ひたひだが..イボイボが..乳首をこねくり回し..舌先が乳首の先端を締めまわし..口全体で..乳首をちゅるちゅると吸い上げる..チュパチュパと締め上げる..

夕美> んああ..もう..あつあつああ..んあつあつああ..んあつあ..もう..んああ..乳首だけで..んあつあ..私..おかしくなっちゃう..

じん> 臍腹では..乳首に吸い付く触手のように..触手がわき腹に吸い付き..ヒダヒダでにゆるにゆると愛無し..イボイボがくにゆくにゆと締めまわす..

じん> 舌先でやさしくわき腹を締めまわす...くにゆくにゆにゆるん..ちゅるちゅるちゅる..ねちよねちよ...くにゆにゆ...

夕美> あああん..んああ...うんふん..んああ..感じちゅう..んああ..気持ちいい..んあつあつああ..

じん> ヒダヒダ..イボイボが..さらに激しく..くねくねと蠢きまわる..乳輪を..乳首を...くにゆくにゆと...くちゅくちゅと..ネチヨネチヨと..弄ぶ..

夕美> ああつあつああ..なんか..いきそう..乳首だけで..私..いっちゃいそう..んあつあつああ..んふあつあつああ..

じん> ヒダヒダを..イボイボを..くねらせ..振るわせ..乳首を苛めまくる...くにゆくにゆくにゆ..ぶるぶるぶる..ぶるぶるぶる...くちゅくちゅくちゅ..ぶるっ..ぶるっ..ぶるぶるぶる...

夕美> ああつあつああ..ダメ..ダメ..そんなの..あつあつああ..感じすぎちゃう!...んあつあつあつああ..

じん> そして..胸の先端を挿え込んだ触手全体が..微かに..震え..その中のヒダヒダも..イボイボもその体を振るわせる..

夕美> ああんっ!...ああんっ!...ダメ..ダメっ!...そんなの..ああつあつああ..いっちゃう..いっちゃう..んあああつ..

じん> ぶるぶるぶるぶるぶるぶるぶるぶるぶる~..ぶるっ!...ぶるっ!...ぶるっ!...ぶる!ぶる!ぶる!ぶる!...ぶるぶるぶる~...

夕美> あああ..もう..ダメ..私..いっちゃうっ!!!!

じん> 舌先が..きゅ~っ..きゅっ乳首を締め上げる..きゅ~っっっ!!!!...ヒダヒダが..イボイボが..震える..ぶるぶるぶる..ぶるっっ!!!!

じん> きゅ~っ!...ぶるぶるぶる...くちゅくちゅ...くねくね..にゆちゆにゆちゅ..ぶるっ!...きゅ!...きゅ~...くちゅ...

夕美> ああああああああああああつ!!!!..ああつあ..はああ..んっはつああつあつああ..はあつあん..はああああ..

じん> 夕美の胸は..乳輪は..乳首は..触手につぎつぎに責め立てられる..

夕美> はああああ..はああああ..んああああ..はああああ..はああ..す..こい..んああああ..

じん> 天井から..触手がだら~ん...と..夕美の目の前に垂れてきて..その先端をくねくねを蠢かせる..ネットの体液を滴らせながら..

夕美> あつ..ああああ..

にゆるにゆる 触手の館 <http://blue.ribbon.to/~nyurunyuru/>

じん> その先端が..ぶるぶると小刻みに震え..膨らみ..触手の先端から、細い無数の触手が生まれる...

夕美> あああ..口は..いい..や..

じん> そして、その母体となる触手が、夕美の口の中に入って来る..くちゅくちゅ..ぬぷぷぷ..くちゅ..くちゅ..ぬぷぷ..

夕美> へんっ!..んぐぐ..へんっ..んぐ..んぐ..へんっはあああ..

じん> 夕美の口の中に入り込んだ触手は..その体をくねらせ、蠢かせ..口の中をやさしく愛撫する..

夕美> へあああ..へんっ..んぐ..んぐ..へん..へん..へん..うん..

じん> 触手の先端より生まれた触手は..夕美の口の中で、その体を蠢かせ..舌に巻きつき..絡ませ..

じん> 口の中に入りきらなかった、細い触手が..夕美の唇を愛撫する..無数の細い触手が、次々と夕美の唇を舐めまわす..

夕美> へああ..んちゅ..へああ..ちゅばちゅば..(自ら触手に舌を絡ませて..)

じん> ちゅるちゅるちゅるう~..ぺろぺろぺろ~..ん..ぷにゅぷにゅ..くちゅくちゅくちゅ..無数の触手が、可愛い唇を次々に舐めまわす..

夕美> へんちゅ..へん..はああ..はああ..んぐつ..うんはああ..へんっ..へんはああ..

じん> 夕美の口の中では、母体となる触手が、夕美の口の中で蠢き、くちゅくちゅにかき混ぜながら..

じん> 細い触手が..夕美の舌を絡ませ..内壁を..口の中から、唇を舐めまくる..くちゅくちゅくちゅ..ちゅるちゅる..

夕美> へああ..へんちゅ!..へんはああ..んぐんぐ..へんちゅちゅ..あああ..うんっはあああ..

じん> 口の中の触手と同じ触手が、夕美の背筋を撫で回す..母体の触手は、夕美の背筋に、そのヌメヌメの体液を塗りつけながら愛撫して..

夕美> あああ..へん..ソコも..へん..感じちゃう..へんはああ..気持ち..いい..へんっ!..へんはああ..

じん> 細い触手が、背筋の周りを、ぺろぺろと舐めまわす..にゆるにゆるにゆる..にゆるにゆるにゆる..にゆるにゆるにゆる..

夕美> へん..へんっ!..へん..はああ..いい..そこ..へん..へん..

じん> 母体の触手が、口の中でその体を伸ばし..縮め..ピストン運動を始める..ぬぷぷ..くちゅくちゅくちゅ..ぬぷぷ..くちゅくちゅくちゅ..

夕美> へんちゅ..へんちゅ..へん..あああ..へんぐんぐ..へんっ!..へんはああ..へん..へん..

じん> 細い触手は..ピストン運動のせいで、夕美の口の中を、さらに激しく舐めまくる..舌を舐めまわし、内壁を..唇を..

夕美> へん..へんぐ!..へん..へん..ああ..うんぐ..へんはああ..うん..

じん> 触手に手足を縛られ、自由を奪われ、胸を触手に揉まれ..舐められ..愛撫され、乳首を吸われ..弄られ..、

じん> わき腹を舐められ、背筋を愛撫され..舐めまわされ、口では、触手をフェラチオして..舌を絡まされて..唇を舐められ..

にゆるにゆる 触手の館 <http://blue.ribbon.to/~nyurunyuru/>

じん> 「この厭しき触手に胸を揉まれ..汚され..口を犯され..感じるのだろう、股間から..淫らな蜜が溢れているぞ...」

夕美> んっ!...んっ!...(そんなこと..ない..でも..でも..溢れてくる..いっぱい..いっぱい..私..感じてる...)

じん> 背筋を撫で回していた触手が..その愛撫をだんだんと下半身に移してくる...

夕美> あああ..だめ..それ以上は..だめ..だめ..あああつあああ..

じん> バンティの上から、夕美のお尻を撫で回す..母体の触手が..お尻を撫で回しながら..細い触手が..夕美のお尻を舐めまわす...

夕美> んああ..んんっ..あああつ..んっはつああ...(お尻をクネクネとくねらせる..触手の責めから逃げるように..)

じん> そして、夕美の閉じられている股間へ、触手の母体は..その先端を滑らせながら..先端をくねくねと動かしながら、滑り込んでいく..素股の要領で..

夕美> あつ..ああああああああ..いやああ..ダメ..お願..んああああああ..

夕美> こんな..イヤなのに..だめなのに..溢れてくる..いっぱい..イヤらしい..液が..いやあつああ..

じん> 細い触手が..夕美の股間を..内股を..くちゆくちゆと舐めまわす...くにゆくにゆと愛撫する..母体は..その先端をくねくねと動かして..その先端が..夕美の股間から姿をあらわす...

夕美> あああつああ..んああ..はああん..んん..んああ..んはつはあつああ..んんっ!...んああ..

じん> 閉じられた股間の間に触手が入り込み..その体をゆっくりと前後に動かし、夕美の股間で..ピストン運動を開始する...

夕美> あつ..あつ..あつ..んああ..いい..んああ..んんっ..んああ..んあつああ..

じん> 左右を太ももで挟まれ..上を夕美の大事な部分..湿ってるバンティで押さえられた..(Y)の中心で..触手は..その体を動かす...

夕美> あああん..んああ..はああ..うんはあつああ..気持ち..いいの..んああ..んああ..はああ..

じん> ゆっくりと..股間を出たり入ったり..細い触手は..バンティの上から、夕美の割れ目やクリ、アナルを刺激し..また、内股を舐めまわす...

夕美> あつああ..あつ..あつ..んああ..はああ..んあつああ..うんはあつああ..ダメ..んああ..

じん> 口の中の触手の動きが、だんだんと早く激しくなる..ぬぷぷぷ..くちゆくちゆくちゅっ...

夕美> んぐっ!...んぐっ!...んんっ..んっはああ..んああ..んちゅんちゅっ..んああ..んんっ...

じん> 喉の奥まで触手が入り込み..かき混ぜる..細い触手は..その体をくねらせ、動かして、口の中を愛撫する..舐めまわす...

じん> ぬぷぷぷ..くちゆくちゆくちゅっ..ぬぷぷ..くちゆくちゅっ..ぬぷっ..くちゅっ..ぬぷっ!...くちゅっ!...ぬぷっ!...くちゅっ!...くちゅんっつ!!!

夕美> んっ!...んっ!...んっ!...んあつ..んああ..んんっ!...んんっ!...(こんなところで..出さないで..お願..っ!...)んああ..

じん> そして、母体の先端から、..とどっぴゅ~!!!とびゅ!!とびゅ!!とびゅ..どく、どく、どく、とどくどく...

夕美> いやああああああああああ..んっぐううっ!!!!んぐっ!...んぐ..んああ..



にゆるにゆる 触手の館 <http://blue.ribbon.to/~nyurunyuru/>

じん> 大量の精液が、夕美の口の中に、喉の奥に、発射される。大量の精液が、夕美の喉を通る。ゴク、ゴクン...

じん> 精液が射撃されるたびに、触手の体がピクン...ピクンと弾ける。その度に、どびゅっ!と精液が発射される...

夕美> んっぐっ!ゴクンっ!...ゴクン!...んっはあぁぁ..ゴホッ!...ゴホゴホ..ケホ..

じん> 口の中の大量の精液を、細い触手が、かき混ぜる...くちゅくちゅっくちゅ...くちゅくちゅくちゅ...くちゅくちゅくちゅ...

夕美> んっはあぁ..んあぁぁ..んっぐ..んん..んあぁ..

じん> 口の中の唾夜..触手の体液..精液を細い触手が絡めとり..母体の触手が、夕美の口の中から、ゆっくりと出てくる..ぬぷぬぷぬぷ..くちゅくちゅ...

夕美> んっはあぁ..はあぁぁ..はあぁぁ..んっあぁぁ..

じん> 口と触手の間に、白い糸がだら~んと伸びて..口元から、嫌らしい液がたらたらと滴り落ちる...

じん> 口から退いた母体の触手は、その先端で、夕美の顔を愛撫する..細い触手に絡みつけた、唾夜..体液..精液を、夕美の顔に塗りたくりながら...

夕美> いやぁ..いやぁぁ..んあぁぁ..んはあぁぁ..んあぁ..んん...

じん> 別の触手が..今度は普通の形をした..汚された夕美の口の中に、入っていく..ぬぷぬぷぬぷ..

夕美> (そんな...)んんっ!...んはあぁぁ..んあぁぁ..んぐっ!...

じん> 「欲しかったのだろう..飲みたかったのだろう..卑しき触手の精液が..くちゅくちゅに..汚してほしかったのだろう...」

夕美> (違う..違う..こんなの..でも..気持ちいい..感じる..あぁぁぁ..)

じん> 「自分の卑しき姿を見るがいい..」じんがそう言うと..夕美の正面に..等身大の御贖が現れ..触手に犯され、汚される、夕美自身の姿が浮かび上がる...

じん> 「手足を縛られ..自由を奪われ..触手に犯され..ドロドロの精液で汚された、卑しき自身の顔を..姿を見るがいい..」

夕美> いやぁ..やめて..見たく..ない..こんなの..私..こんなに淫らなの?...そんなこと..んあぁぁぁ..

じん> 「さぁ..宴の続きだ..これから、宴が最高潮に盛り上がるのだ..楽しむがいい..感じるがいい..触手に犯される自身の姿を見ながら...」

夕美> はあぁ..はあぁ..んんあぁぁ..もう..んあぁぁ..うんっはあぁ..はあぁぁ..

じん> 股間で..素股をしていた触手が..その体を伸ばし、縮め..夕美の股間を愛撫する..細い触手が、夕美の股間を舐めまわす...

夕美> あっはあぁぁぁ..んはあぁ..んうふっ..はっあぁぁぁ..んあぁ..んんっ!...んあぁ..

じん> そして、先端を夕美の顔に向けて..そして、先端から、大量の背液を発射する..ドビュドビュドビュッ!!ドビュドビュ~...ドビュッ!ドビュッ!...ドクドク...

夕美> んあぁぁぁぁ..んっく..んう..こんなの..んあぁ..じん..もう..許して..んあぁ..んんっ..んっく..はあぁ..

じん> どろどろの精液が..夕美の顔を汚し..胸を汚す..その汚れた顔を、胸を..触手がさらに犯しまくる...

にゆるにゆる 触手の館 <http://blue.ribbon.to/~nyurunyuru/>

じん> 夕美の顔では、今までフェラをさせていた触手が、精液で引いた顔を愛撫し、舐めまわす...ぐちょぐちょ...ぐちゅっ!...くにくにくにゅ...

夕美> ああああ...ぐちゅぐちゅいってる..私の体中で..んはあつああ..うんふう..んあああ..

じん> 胸では、胸を締め上げた触手が、どろどろの精液のせいで、ヌルヌルと滑りまくり..その滑る感覚が、愛撫となり..夕美の胸の感覚をさらに高潮させる...

夕美> はああ..はああ..もう..あああ..こんなの..いやああ..でも..でも..切ないの..体が火照ってるの..んっはあああ..

じん> どろどろの精液を弾出した触手は、その体を、締め、股間からも出て、また、背中を愛撫する..ヌメヌメ..ねちよねちよ...ぐちゅぐちゅ...

夕美> んあああ..体中が..感じる..んん..んはあああ..うんっはあああ..いい..感じる..んん...

じん> 別の触手が、夕美の前と後ろから、夕美の股間を責め立てる..閉じられた股間の..(V)..前と後ろから...

夕美> あああああ..んっああああ..んんっ..んんっ..んあああ..はあああ..はあつあつああ..

じん> 後ろからは、先端に無数のヒダヒダ、イボイボのある触手が、パンティの中に潜り込み、弄り..ネトネトの体液で、夕美のお尻を舐め、愛撫する...

じん> 触手の先端を動かしながら、さらにヒダヒダを動かせる..パンティの中で、、触手は、その体で夕美のお尻を舐めまくる..ねちよ~..ねちよねちよ、くにくっ!くにくにくにゅ..にゆる~...

夕美> ああああん..いい..お尻も..感じる..んんっ...くすぐつたい..あああ..んあああ..いいの..んあああ..

じん> そして、、その先端で、お尻の割れ目を愛撫し始める..お尻の割れ目にそって、触手は体を伸ばし、締め..イボイボ..ヒダヒダで、その周りをこねくり回す...

夕美> ああああつ!..んっはああああ..そこは..あああ..んんっ..んあああ..んはあああ..

じん> くにくにくにゅ..にゆるにゆる...ぐちゅ~っ..にゆるん、ぬにゅぬにゅ..ねちよちよちよ..

夕美> あああああ..うんっ!..んあああ..いい..いい..いい..んあああ..感じる..感じちゃう..あああんっ!...

じん> そして..前からは、先端に、無数の触手を従えた、先端がハケのような触手が、夕美のパンティの中に潜り込んでくる...

じん> パンティの中に潜り込んだ触手は、そのハケのような先端で、夕美のクリを愛撫する..ぬめ..にゆる...くにく..ぶにゅ..ねちよ..ぬにゅ...

夕美> ああああつ!!!..そこ..んあああ..ダメ..感じすぎて..オカシクなっちゃう..んあああ..んんっ!..んあああ..

じん> ハケのような先端で、夕美のクリトリスを包皮を撫でまわす..細い、細かな..ハケのような触手が、次から次に、夕美のクリトリスを撫で回す...

夕美> んああ..いい..感じる..感じるの..そこ..気持ちいい..んあああ..んっはああ..んんっ!...

じん> ネトネトのヒダヒダが、クリトリスの上の息、ざり回る..べろべろと舐めまわす触手..くねくねとクリを弄ぶ触手..くにくにくにゅとこねくり回す触手...

夕美> あっ..あつ..あつ..んんっ..んっはあああ..うんあああ..イイ..ああああ..もう..私..んんあああ..

じん> クリトリスやその周りを、ハケの触手の愛撫が、舐めまわすような感覚が、夕美の下半身を責め立てる...

じん> お尻でも、触手のイボイボが、割れ目を撫で回す..舐めまわす...くにくにくにゅ..ぬちゅんぬちゅぬちゅ...

にゆるにゆる 触手の館 <http://blue.ribbon.to/~nyurunyuru/>

夕美> んああ..んはあつああ..あああつああ..いゝいゝ..気持ちイイ..んああ..んつはあつあ..

じん> クリを撫で回す触手が..クリを包む包皮を剥き、クリトリスを剥き出しにする..そして、剥き出しになったクリにさらなる刺激を与える...

夕美> あああ..そんな..こと..ダメっ!..壊れちゃう..私..オカシクなっちゃうよ..んああ..

じん> 剥き出しにされたクリの上を..触手のヒダヒダが何度も何度も舐め..撫で回す..にゆるにゆるにゆる...くにゆくにゆくにゆ...

夕美> あつあああ..もう..ダメっ..いっちゃう..また..いっちゃう..私..いっちゃうっ!...

じん> 剥き出しにされたクリに..ひだひだの触手が..きゅ~っと巻き付き、クリトリスを締め上げてくる..きゅ~っ!

夕美> あっ!..あつ!..あつ!..んつはあつああ..んんっ!..んんっ!..んんっ!!

じん> クリをきゅ~っと締め上げたり..弱めたり..リズムカハにクリトリスを弄ぶ..きゅっ!(くちゅ)...きゅ~...(ぬちゅ)...きゅっつ!(ぐちゅっ)...きゅきゅきゅ(くちゅくちゅくちゅ)...

夕美> ああああああああつあつあああああつああああ~~~~~!!..んつはあ..んつはあ..はああ..はああ..

じん> 締め上げられる、クリトリスの先端を..ヒダヒダの触手が弄ぶ..くにゆくにゆ..ぶにゆ~...くちゅくちゅ...

じん> クリに巻きついた触手は..その体を前後に動かして..クリを「きゅ~っ」と締め付けながら..グチュグチュと愛撫する...

夕美> んはあああ..はつあああ..はああ..はああ..

じん> クリに巻きついた触手は..その体を左右に動かして..クリをこねくり回す(くにゆくにゆ)..弄ぶ(くちゅくちゅ)...

夕美> はああ..はああ..んはあつああああ..イッぱっかりなのに..んああ..

じん> クリに巻きついた触手は..その体を上下に動かして..クリを締め上げながら、クリを引っ張り..激しくクリを苛めまくる...

夕美> すこい..んはあつああ..また..こんなに..んつはああ..感じ..てる..んああ..んん...

じん> 夕美のクリトリスは..締め上げられる..舐められる..愛撫される..弄ばれる..引っ張られる..この感覚が同時に起こる...

夕美> ああああ..ん..あはあああ..んあああ..すこい..すこいの..んああ..こんなの..はじめて..あつあああ..

じん> くちゅくちゅくちゅ..じゅるじゅる..くちゅくちゅ..くちゅっ..じゅるじゅるじゅる..くちゅっ..くちゅくちゅ...

夕美> あああ..イヤらしい音が..いっぱい..聞こえる..んああ..いゝいゝいゝ..んあああ..

じん> 「ほら、聞こえるぞ..卑しき触手に弄ばれ..快感を感じ..淫らな蜜が溢れ出る音が..」

じん> 「股間でしめき..盡く..卑しき触手が..淫らな者より流れ出る蜜を、かき混ぜる音が..淫らな蜜を舐める音が..」

夕美> あああ..言わないで..そんな..こと..私..こんなに淫らじゃ..ない..んあああ..

じん> ハンティの中で盡き..道づり回る触手たちが..激しく盡き始める..夕美のクリトリスを..お尻の割れ目を..舐め..撫で回す...

にゆるにゆる 触手の館 <http://blue.ribbon.to/~nyurunyuru/>

夕美> んっああっ!!...んっ!!...んああ..そんなに..動いちゃ..んああっ..ダメっ!!

じん> そして..触手は、夕美の最後の壁を、..ピリピリに切り裂く..ピリピリピリッ!!!そして..新たな触手が..夕美の2つの穴に迫ってくる...

夕美> ああああ..んっ!!...ああ..じん..見ないで..あああ..お願..お願..こんなの..あああ..

じん> 最後の壁を取り払った触手は..夕美の下半身をさらに激しく苛めるために..2つの穴に..その先端を押しつけてくる...

夕美> あああ..んっああ..うんっはああ..いい..ん..ん..んはああっ..ん..ん..ん..あああ..

じん> 丸く..龜頭のように先端を膨らませた触手の先端が..前と後ろの穴に..一気に..奥まで入り込む..ぬづぬづ..ぬづ..ヌブヌブ..くちゅくちゅ..ずぶずぶ..!!!!...くちゅ!くちゅくちゅ!!

夕美> っあああああああああ..んっはああ..イイ..イイ..んああ..はああ..

じん> マンコの中に入り込んだ触手は..夕美の奥まで一気に入り込み..体を硬直させて..夕美の中をかき混ぜる...

夕美> あああ..すごい..こんなの..ダメっ!!..私..もう..また..いっちゃっ!!..んああ..んっ..もう..ダメっ!!!!

じん> 硬く..太い触手が..夕美の中に入り込み..夕美の子宮を..身体を..貫くぐらい..奥まで、..そして..その中で、..体をくねらせて..かき混ぜる...

夕美> ああああああああああ..んっはああ..はああ..はああ..はああ..

じん> ゆっくりと..やさしく..マンコに入り込んだ触手は..夕美の中で..ピストン運動を開始する...くちゅくちゅくちゅ~...ずぶずぶずぶ~...

夕美> あいう..んああ..うんっはああ..ああ..んっはああ..はああ..はああ..はああ..はああ..

じん> 奥まで入りこんだ触手が..ゆっくりと体を伸ばし、..縮め..出たり入ったりを繰り返す...

夕美> あああ..もう..許して..じん..あああ..んああ..もう..こんなの..いやああ..

じん> アナルでは..少し細めの触手が..体をくねらせて..体を伸縮させて..夕美の中に入り込む..ぬづぬづ..くちゅくちゅくちゅ..ぬづぬづ..

夕美> あああ..そこは..んああ..いや..んっはああ..いや..んっ!!..んっああ..うんっはああ..うん..

じん> アナルの触手が体をくねらせ..アナルの中をかき混ぜる..ゆっくりと..やさしく..アナルの中を舐めるように..

夕美> あああ..アナルも..感じちゃう..ああ..んっはああ..感じちゃう..んああ..いいの..うんはああ..

じん> ぬづ..くちゅくちゅ..ぬづぬづ..くちゅ..ぬづ..ぬづ..くちゅ..くちゅ..

夕美> あああ..んああ..すごい..感じる..私..こんなに..淫乱じゃ..ないのに..ああ..いっぱい..感じる..ああ..

じん> 「卑しき者よ..前を見よ..己の淫らな姿を写す..御鏡を見よ..進む精液で..その淫らな顔を汚され..口を汚され..胸を汚され..」

じん> 「淫らな蜜を溢れさせ..その股間を..卑しく濡く触手にふさがれた..その淫らな身体を..己の姿を見るがよい..」

じん> じんがそう言うと..ふう~~~~と..夕美の目の前に等身大の大きな鏡が現れ..夕美の汚されつづける身体を写し出す...

にゆるにゆる 触手の館 <http://blue.ribbon.to/~nyurunyuru/>

夕美> え..そつ..そんな..あああ..しやああ..こ..こんなの..ダメ~っ!!..やめて..ああああ..お願..じん..こんなの..酷..は..ああああ..

じん> 「そして..自ら..その姿を口にするのだ..さあ..、声こ出して..私に..触手に聞かせるのだ..その淫らな姿を..」

夕美> あああ..そんな..そんな..ダメ..言えない..あああ..んっああ..うんっはああ..もう..許して..ああああ..

じん> そう問..詰められている間も..口..胸..乳首..わき腹..背中..お尻..クリトリス..アナル..マンコ..夕美の感じる箇所全てを..触手が犯しまくる..

夕美> あああんっああ..身体中..犯されてる..私の身体..バトバトに..ぐちゅぐちゅに..汚されてる..あああ..

夕美> 顔も..口も..胸も..アナルも..クリトリスも..私の大事な所も..ぐちゅぐちゅに..犯されまくってる..ああああ..

じん> そして..アナルを..マンコを貫め立てる触手が..その中で..激しく夕美の中で体をくねらせて..かき混ぜる..

夕美> あああんはあああつああ..うんっふあああ..んあつあ..はああん..んっはああ..あああ..んっ!!..んああ..

じん> 夕美の身体を..下から上に..ずんずんずん..と突き上げる..身体を..子宮を..ずんっずんっずんっずんっ..と激しく突き上げる..

夕美> あああつ!!..あああつ..んああ..うんっふあああ..んはああ..あああつ!!..あああつ!!..あつ!!..あつ!!..

じん> クリトリスやお尻の割れ目を舐めまわす触手も..早く..激しく..弄ぶ..くにくくにくくにくく..ぐちゅぐちゅぐちゅ..

夕美> あああ..すこいっ..すこいっ..んああ..こんなの..初めて..感じちゃう..狂っちゃう..オカシクなっちゃうっ!!!

じん> 夕美の子宮を..その先端でぐちゅぐちゅに突き上げて..内壁を..こすりまくる..その先端を..動かして..夕美の中をかき混ぜる..

夕美> ああ..犯されてる..いっぱい..ぐちゅぐちゅに..犯されてる..私..こんなのに..犯されまくって..感じる..ああああ..

じん> アナルでも..触手のピストン..動かすのが早く..激しくなる..夕美の身体を..、ずんずんと..お尻からも突き上げる..

夕美> あああ..アナルも..いい..いいのっ!!..感じる..あああ..うんっはああ..ああああ..

じん> 「さあ..、卑しき触手の精子を受け入れるがよい..卑しき触手の仔を..その淫らな身体に宿すがよい..」

夕美> あああ..出して..いっぱい..私の中に..出して..汚して..私の身体..ぐちゅぐちゅに..して~っ!!!

じん> じんがそう言うと..夕美の股間を弄る触手の動きが..さらに早く激しくなる..ズンズン..きゅ~..にゆるにゆる..ぐちゅぐちゅ..

夕美> あああつ!!!..あああつ!!!..んっふあああ..また..いっちゃう..いっちゃう..私..ああああ..んああ..

じん> マンコで..アナルで..ズン..ズン..ズン..ズンッ..ズンッ..ズンッ..ズンッズンッズンッ..ズン!ズン!ズン!ズン!ズン!ズン!..

夕美> ああつ!!!..ああつ!!!..あつ!!..あうつ!!!..あんっ!!..んあああつ!!..もう..ダメっ!!..私..あああつ!!!..

じん> ズン!ズン!ズン!..ズンッッッ!!!!!! 夕美の奥まで達した触手の先端から..体内に..大量の精子が突入する..

夕美> あつ!!..あつ!!..もう..いっちゃう~~~~っ!!!!!!

にゆるにゆる 触手の館 <http://blue.ribbon.to/~nyurunyuru/>

じん> っどっびゅ~!!!どっびゅ!どっびゅ、どびゅ...どくどく...どっく...どろどろどろ~、どろ~ん、どろ~ん...

夕美> ああああああああああああつああつああああああつああああつああああ~~~~~つ!!!!!!!!!!!!

じん> 夕美の股間は、触手の粘る精液と...その淫らな蜜で、溢れ...そのあふれ出る淫らな液が...夕美の太ももとろ~ん...と降り垂れていく...

夕美> はうっ!...んっはああ...あああ...あああ...はあああん...はああ...はああ...はああ...

じん> 射精した触手は、夕美の体内から退き...床から伸びる...太く、先端こイボイボの触手を従える触手が...夕美のマンコに当たっている...

夕美> もう...もう...だめだよ...じん...おね...がい...許して...はああ...はああ...はあつあ...

じん> 足を閉じさせていた触手が...その足を持ち上げ...Mの字に開かせる...その股間からは、触手の精液が、白い糸を引きながら...たら~...と降り落ちていく...

夕美> あああ...ああ...もう...もう...お願い...じん...これ以上...もう...壊れちゃう...私の身体...お願い...

じん> 「淫らな者よ...その汚れた身体を見よ...御贖ひ映る、その汚れた身体を、自らの身体から触手の精液を垂れ流す、淫らな身体を...」

夕美> いやああ...じん...そんなこと...言わないで...あああ...こんなの...いやああ...お願い...あああ...

じん> 先端こ...イボイボのついた触手は...夕美の目の前で、その先端を揺らし...そのイボイボをくねらせ...ネットの体液を滴らせる...

夕美> そ...そんなの...入れたら...私...また...(そう言いつつながら...入れられるのを想像して...愛液を溢れさせる...)

じん> そして、その先端を、触手の精液と愛液で、くちゅくちゅ...ニユルニユルになっているマンコに...ゆっくりと、その先端をうずめ、その先端をくねらせ...マンコの中に入って行く...

じん> くちゅくちゅ...ぬずぬずぬず...ぬずぬずぬず...ぐちゅ...くちゅ...くちゅ...くちゅ...ずぶ...ずぶずぶずぶ...ずぶ!

夕美> ああああ...んっはああ...んんっ!...あああ...うんっはああ...あう...んああ...うんあああ...

じん> ゆっくりと...夕美の中に入っていく...その身体を伸ばし、締めながら、そして、先端のイボイボを動かしながら、夕美の奥に入っていく...

夕美> あああ...うんっあああ!!!...膣の中...くちゅくちゅにかき混ぜられている...んああ...うん!!!...んんっ!...っはああ...

じん> ゆっくりと...確実に夕美の中に入っていく触手は...ついに、その先端を子宮に届かせる...そして、その子宮を、そのイボイボで、くちゅくちゅ...くちゅくちゅ...にゆるにゆる...くちゅ~...と弄ぶ...

夕美> うんっはあああ...奥まで...奥まで...届いてる...子宮まで...届いてる...ああああ...うんっはああ...うんっはああ...んんっ!...

じん> そして、その身体をゆっくりと戻しながら、触手イボイボを動かして...夕美の内壁をこすりまくる...

夕美> イっ!!...ああ...イボイボが擦れて...いっぱい...感じる...うんっはああ...あああ...うんっ!...うんっ!...あああああ...

じん> 夕美の...マンコの入り口から出そうなくらい縮まった触手は...その先端で、夕美の内壁をこすりつける...

じん> 夕美の左側の内壁を...触手の先端がやさしく...強くこすりつける...そして、イボイボは、その体を動かして、内壁をやさしく舐めまくる...

夕美> うんっあああ...はああ...はあつああ...んんうあああ...うんっ!...うんっああ...いい...いい...あああ...

にゆるにゆる 触手の館 <http://blue.ribbon.to/~nyurunyuru/>

じん> 内壁をこすりつながら..ゆっくりと、夕美の奥まで進んで..そして、また子宮を弄ぶ..

じん> 夕美の子宮を..イボイボが..くにくにくと弄ぶ..くちゅくちゅと舐めまわす..

夕美> あああ..奥まで..届いてる..子宮まで..犯されてる..舐められてる..くちゅくちゅに..あうんっはあああ..

じん> そして、今度は、夕美の右側の内壁を擦り付けながら..イボイボが舐めながら..体を縮めてくる..

じん> 今度は..夕美の上の壁を..下の壁を..そして、また..左の壁を..右の壁を..夕美の内壁を..激しく擦り付けながら、夕美の中をかき混ぜる..

夕美> うんっふあああ..あああ..あああ..んんっ!..んああ..動いてる..私の中で..動いてる..あああ..

じん> 触手は..夕美の内壁をかき混ぜ..イボイボが内壁を舐めまわす..くちゅくちゅくちゅ..くにくにく..くちゅっ..にゆるにゆるにゆる..

夕美> んんっ!..うんふあああ..うふっあああ..んっあああ..すこい..あああ..あああ..もう..あああ..

じん> 夕美の体中口は..無数の触手が、夕美の体を貪り続ける..口に入り込み、フェラさせ..何度も、何度も..口の中に..顔こ..射精をし..

夕美> 身体中..汚されてる..白濁の精液で..くちよぐちよに..顔も..口も..胸も..脚も..んああ..アソコからも..垂れてくる..ああんあああ..

じん> 胸こ巻きつき..締め上げ..揉みまくり..愛撫しつつ、乳首をヒダヒダが舐めまくり..転がし..弄び..脇もヒダヒダの触手に舐めまわされる..

じん> お尻の割れ目を..触手に愛撫され..イボイボが舐めまわし..クリに巻きつき、きゅっと締め上げ..ハケの触手がクリの上を舐めまわす..

夕美> んんっ!..あああ..もう..私..ダメっ!..私..壊れる..あぁっああ..んああ..んんっ..うんっふあああ..

じん> そして..夕美のマンコ口は..太い触手が入り込み..内壁を擦り付け..舐めまわし..子宮も弄ぶ..

じん> 夕美の中に入りこんだ触手は..だんだんと..そのピストン運動を早める..ずぶ..ずぶ..ずぶ..くちゅくちゅ..くちゅっ..ずぶずぶずぶ..くちゅくちゅぐちゅ..

夕美> あぁっ!..あああっ!..んあああっ!..はああ..はああ..もう..私..いっちゃう..また..いっちゃう..んあああ..

じん> ピストン運動を早め..内壁をこすり..イボイボが、夕美の体内を舐めまくる..くにくにくと..くちよぐちよと..

夕美> あああ..んああ..すこいっ!..んっふあああ..イっ!..あああ..んああ..もう..ダメっ!..いっちゃう..あああ..

じん> ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..ずん..

夕美> ああああ..あああ..あああ..んああ..ああ..い..い..い..い..い..い..い..い..い..い..い..い..い..い..い..い..い..い..い..い..い..

じん> 夕美の体中を貪る触手が..さらに激しく夕美の体を貪る..くちゅくちゅ..くちよ..くによ..くちゅっ..くにくにく..くちゅくちゅぐちゅっ!

夕美> ああ..もう..もう..あああ..あああ..あああ..

じん> マンコでは..内壁を擦り付ける..イボイボが舐めまくる..そして、夕美の身体を突き上げる..

じん> ずん!ずん!ずん!ずん!..ずんっ!..ずんっ!..スンスンスン.....スッスッスッ!!!!!!

夕美> もう..ダメェ-----っ!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

じん> 夕美の口で..胸で..脇で..お尻で..クリで..そして、体内で..夕美の身体中を貪りつづける触手が...一斉に、大量の精液を夕美に射精する...

夕美> ああああつあああああつあああああつあああああつあああああつあああああつあああああつあああああつあああああつあああああつあああああ...

じん> ドピュ~ツツツ!!!!!!!!ドピュドピュドピュ~!ドピュ..ドピュ..ドピュ..ドクドクドク..ドピュッ...

じん> 夕美の体内で..子宮に向けて..大量の精子が射精され..口の中でも..射精され、喉の奥を通り..顔にも..どろどろの精液をかけられ..

夕美> はああ..はああ..はああ..

じん> 胸..腹..お尻..身体中..触手の精液で..どろどろに汚される..

夕美> はああああ..はあああ..はあああ..うんつぶあああ..はああ..ああああ...(もう..真っ白..なにも考えられない..力も入らない..)

じん> マンコに入り込んでいた触手が..退くと同時に(ずぶずぶずぶ..くちゅくちゅじゅちゅ)..マンコの中に入りきらなかった精液が..ポタポタと、地面に落ちる..身体中にかけられた精子の一部も..地面に降り落ちる..

夕美> あ..あああ..

じん> そして、地面は、触手の精液と、夕美の愛液の交じり合った液体で..くちゅくちゅに濡れ..その液体の池ができる..

じん> 夕美の身体の自由を奪っていた..腕と足に絡み付いていた触手が..その絡みを解き放ち..くちゅくちゅに濡れた地面に..夕美の身体が崩れ落ちる..

夕美> あああ..

じん> そして、目の前には、夕美の淫らな姿を映した御鏡が..どろどろの精液にまみれた..汚れた夕美の姿が映し出されていた..

夕美> はああ..はああ..はああ..これが..私..

じん> 「今宵は 記念すべき日だ..数百年..封じられし私の身体が..自由が..解放した..そして、お前は 私の奴隷となるのだ」

じん> 「私の..卑しき触手の..性奴隷として..そして、卑しき触手の仔を宿した..淫らな母として..」

夕美> はああ..はあ..私..これから..はああ..はああ..

じん> ...しばし沈黙の時間が流れる..

じん> 扉の外で声が聞こえる..「ここじゃねえのか?」「明すてみようよ..」「じん~!夕美~!いるの~??」

じん> 「また、来たか..今宵は楽しみそうだ..その汚れた姿を..触手を宿した身体を..友に見てもらおうがよい..」

じん> 低い笑い声とともに..じんの姿が消える..そして..、キィィィ~...この部屋の重たい扉が開く..

夕美> いっしやあああつああああ~~~~~っ!!!!



